

2024年3月16日

各位

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
レフェリー委員会
委員長 内山邦也

V S S ローカルルール

V S S（ビデオサポートシステム）のローカルルールとして、下記の通り運用致します。

1. ゴールの確認

従来通り、ショットがゴールしたかどうかの確認。
チームからのチャレンジも可、但しハイスティックは除く。

2. プレーの確認

レフェリー自身が確認要否を決定し、チームからの申し入れによる確認は行わない。

例：①ライズパーソン申告によるメジャーペナルティ以上に相当する行為の確認

②4人制において、2人のレフェリーの科したペナルティの整合性確認＝反則行為があったのは明らかだが、両者がそれぞれ別のチームによるものと判断している、反則をしたと認定した選手が異なる など

③ハイスティックングによる反則において、接触がフォロースルーによるものか否か

④マイナーかメジャーかの判断ができないとき＝イリーガル・チェック・トゥ・ザ・ヘッド・オア・ネックでファーストタッチが頭部か否か、エルボーが顔部に当たっているか など

⑤その他 選手が倒れて血を流しているが、原因を確認できなかった など

3. 運用にあたって

- 1) レフェリー自身が確認するかどうかを決定し、チームからの申し入れ＝チームチャレンジは受け付けない。
- 2) 単にマイナーペナルティ相当の反則行為があったか否かの確認はしない。
・レフェリーは自身の判断のみでペナルティを科すかどうかを決定する
- 3) 確認はレフェリー及びR S Vのみとし、その他は操作担当者以外関与しない。
- 4) 確認後、レフェリーは両チームに確認理由、確認結果を説明するとともに、必要に応じて場内アナウンスを行う。

以上